

魚川村

みんなの

ぎんぎん

だより

No
172

令和5年4月

題字：魚川小学校
5年 新海 櫻華さん



3
月
定
例
会

放課後児童クラブ
利用料の負担増を否決

- 議案調査 4
- 一般質問に6議員登壇 5~11
- 福島第一原発 視察研修 12

令和5年度予算

会計別	5年度予算額	4年度予算額	伸び率%	
一般会計	28億9,900万円	28億9,300万円	△0.14	
特別会計	国保事業勘定	4億1,924万円	4億2,053万円	△0.31
	直診勘定	5,182万円	5,772万円	△10.21
	簡易水道事業	8,359万円	9,358万円	△10.68
	村営バス事業	1,126万円	970万円	16.14
	集落排水事業	4,139万円	4,426万円	△6.49
	介護保険	4億7,967万円	4億7,853万円	0.24
	学校給食センター	8,959万円	9,062万円	△1.14
	後期高齢者医療	3,855万円	4,010万円	△3.86
	合計	41億415万円	41億2,808万円	△0.58

令和5年度の主な事業・事業費

歳 出

旧国保診療所解体事業費		1,500万円
移住定住促進事業費	移住コーディネーター委託料	300万円
	移住定住促進補助金	205万円
	移住支援金補助金他	186万円
企画振興費	若者未来創出会議事業等	264万円
	総合戦略有識者会議に係る経費	21万円
	総合計画進捗管理システム導入経費	233万円
	地域経済振興事業 他	548万円
公共交通振興事業費		4,498万円
地方創生推進事業費	村づくり懇談会に関する経費	317万円
	村の10年後のシミュレーション作成業務	435万円
	中心地域全体構想デザイン作成業務	450万円
	関係人口創出事業に関する経費他	1,229万円
特定地域づくり事業組合設立準備費		427万円
保健センター施設維持補修工事他		806万円
防災行政無線操作卓更新業務		4,290万円
義務教育体制整備業務委託料		500万円

放課後
児童クラブ

利用料の負担増を否決!!

3月
定例会



3月定例会の
あらまし

3月定例会が3月6日から10日までの5日間の会期で開催されました。

第1日目に、一般質問を行い6名の議員が登壇し、学校給食費等の経済負担の軽減策、村所有の遊休施設、村道の改良、不登校の実態と対策など様々な問題を取り上げ、村政を質しました。

次に、条例の一部改正等17件、令和4年度補正予算7件、令和5年度予算9件、その他3件（和解・村道路線変更・指定管理者の指定）の提案理由の説明がありました。

第2日目、第3日目、第4日目は、総務文教常任委

員会と産業厚生常任委員会を開き、議案調査と現地調査を行いました。

最終日に、審議した条例、補正予算、令和5年度予算など含む35議案を原案どおり可決しましたが、条例の一部改正1議案を否決しました。

また、議員発議による「議会の個人情報保護に関する条例」を提出し、原案どおり可決しました。

請願1件を採択し、議員発議により意見書の提出1件を日程に追加、さらに村長より、人権擁護委員の推薦、教育委員会教育長の任命同意の議案が追加提出され、原案どおり可決しました。

会計別 補正予算状況

会計別		補正額	補正額後の予算額	議決状況	
一般会計		1億3,552万円	35億6,547万円	全員賛成	
特別会計	国保	事業勘定	388万円	4億3,042万円	全員賛成
		直診勘定	△522万円	6,285万円	全員賛成
	簡易水道事業	△159万円	9,768万円	全員賛成	
	集落排水事業	△196万円	4,482万円	全員賛成	
	介護保険	△1,663万円	5億2,270万円	全員賛成	
	学校給食センター	△56万円	9,547万円	全員賛成	

主な条例改正等

鮫川村課設置条例の一部改正

村づくりをより推進するため、長の直近下位の新たな組織として村づくり推進室を設置。

鮫川村附属機関設置条例の一部改正

附属機関として、新たに、幼保小中教育連携協議会を設置。

鮫川村優良肉用繁殖雌牛導入事業基金条例の一部改正

畜産農家を支援するため、貸付導入資金額の上限を、50万円から100万円に引き上げる。

鮫川村放課後児童健全育成事業費用の徴収に関する条例の一部改正

放課後児童クラブの利用料を、月額2,000円から3,000円に引き上げ、長期休暇等の加算額を廃止。

鮫川村鹿角平観光牧場設置条例の一部改正

キャンプ場の使用料金をテント1張1,000円以内を3,000円以内に変更。

公の施設の指定管理者の指定

「有限会社 鹿角平観光センター」を指定
(令和5年4月1日～令和7年3月31日)

議決状況 (主な予算・条例改正等)

○=賛成 ×=反対

議案名	関根 浩治	森 隆之	遠藤 貴人	堀川 照夫	北條 利雄	関根 英也	前田 雅秀	前田 武久	宗田 雅之
【議案第3号】 鮫川村課設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第4号】 鮫川村附属機関設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第8号】 鮫川村優良肉用繁殖雌牛導入事業基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第11号】 鮫川村放課後児童健全育成事業費用の徴収に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	×
【議案第26号】 令和5年度鮫川村一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○
【議案第32号】 令和5年度鮫川村学校給食センター特別会計予算	×	○	○	○	×	○	○	○	○

※上記以外の提出議案は、全員賛成

人事

人権擁護委員の推薦

岡部 一良 (青生野字大犬平)

◆任期 令和5年7月1日～
令和8年6月30日

教育委員会教育長の任命同意

武藤 誠 (白河市鬼越)

◆任期 令和5年4月1日～
令和8年3月31日

第2回 臨時議会

3月29日に召集され、条例の一部改正3議案、令和4年度一般会計補正予算1議案、教育委員会委員の任命同意が提出され、原案どおり可決しました。

教育委員会委員の任命同意

藤田 伸司 (渡瀬字上)

◆任期 令和5年4月1日～
令和8年10月31日

議案調査

提出議案を徹底調査!



事業内容の説明を受けた合同議案調査

防災無線施設費に5180万円
令和5年度一般会計・特別会計予算及び令和4年度一般会計・特別会計補正予算を総務文教・産業厚生両常任委員会で調査しました。

総務文教常任委員会

問 鮫川村放課後児童健全育成事業費用の徴収に関する条例の一部を改正する条例

答 放課後児童クラブ利用料を月額2000円から3000円に引き上げ、長期休暇中の加算額を廃止

問 村指定文化財設置工事等296万円

答 新規の村指定文化財（西野熊野神社狛犬・赤坂館跡・強滝甌穴群）の看板設置工事費

問 旧国保診療所解体事業費1500万円

答 設計業務委託料と解体工事費

問 移住コワーキングスペース委託料300万円

答 空き家調査、空き家バンクの運営等に要する費用

問 防災無線施設費5180万円

答 防災無線操作卓更新業務等の費用

産業厚生常任委員会

問 経営改善支援事業費468万円

答 農業担い手等の支援事業に要する費用

問 地域活性化企業人負担金560万円

答 手まめ館の商品開発、販路開拓に要する費用

問 出産・子育て応援交付金100万円

答 妊婦及び養育者に5万円を交付

問 鹿角平観光牧場費2309万円

答 施設管理費や地域おこし協力隊事業に要する費用

問 道路等改良工事1858万円

答 村道岩野草水口線、村道ひだまり荘線舗装補修工事



手洗い場が改善された鮫川中学校



発電が開始される青生野メガソーラー事業



空調設備が更新された役場庁舎

議員6人が登壇ズバリ!! 村政を問う!



P 6

北條 利雄

- 補助金の指針
- 給食費の軽減
- インボイス対応



P 9

関根 浩治

- 農業の振興



P 7

森 隆之

- 施設の利用計画
- 複合施設への移設



P10

遠藤 貴人

- 不登校の児童生徒



P 8

前田 武久

- 村道の改良



P11

関根 英也

- 入札の落札率

議事の進行



星 一彌 議長

一般質問は、議員の日常活動を通じて、住民の声や自身の考え方をもとに、村長、教育長などの方針を問うものです。鮫川村議会は、一人あたり90分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

出席議員



前田 雅秀 議員



宗田 雅之 議員



堀川 照夫 議員



北條 利雄 議員

問 補助金の基本的な指針策定は

答 ガイドラインの策定を検討する

質問

補助事業は、振興、災害や緊急性など多種多様に及ぶ。行政課題を解決する有効な手段として、行政の補完的な意味から重要な役割を果たし、成果を上げている。単に既存の補助金等の削減を進めるものではなく、村民と行政の役割分担を明確にすること。時代の変化と村民ニーズに対応すること。補助制度をわかりやすく提供できる環境整備を目的とするなど、統一的な「補助金の基本的な指針(補助金ガイドライン)」の策定を問う。

答弁(村長)

活用されていない事業が見受けられることから、3年経過を目安に見直しを指示した。タイミングをもって公表と周知を図る。補助事業は、補助率2分の1以内で上限を定めて交付している。ガイドラインを策定し、基準の明確化と見える化は、将来的には業務のスリム化にも寄与

する取り組みである。定率補助と定額補助の明確化、採択基準の明確化も併せガイドラインの策定を検討する。

問 学校給食費等の経済負担の軽減策は

答 財源の確保が課題であり慎重に検討する

質問

子どもを育てることは、未来を支える人材を育てることであり、社会全体で支えていく必要がある。なかでも「食」は重要である。乳幼児や義務教育段階においては教科書と同様に無償化することが望ましい。保育料等の軽減措置などが国の基準を超えて講じられているが、更なる見直しが必要である。少子化対策に対応した経済負担の軽減策の検討と改善の方向性を問う。

答弁(教養課長兼村長)

給食食材費の高騰が

あるが、小中学校はこれまで同様2分の1の補助。幼稚部は保育料が免除であり、給食に係る主食の費用は原則保護者が負担。無償化が進む中でも、村と保護者の半分負担が基本。他の子育て支援策も多額の支援を行っており、一部負担を継続する。国が進める「異次元の少子化対策」に対応した負担軽減も、財源の確保が課題であり、一般財源の支出を抑え慎重に検討する。

問 インボイス対応は

答 支援策やシステム導入を検討する

質問

自治体インボイス制度(適格請求書等保存方式)の準備不足が指摘されている。小規模事業者の消費税負担を増やし、コロナと同様に地方経済を疲弊させるインボイス制度になりかかない。混乱を回避する

答弁(村長)

一般会計、簡易水道と集落排水事業特別会計は登録済。システム対応も最低限の改修を予定。制度の説明や指導体制は、行政機関や各団体などが機会を捉えての対応で、おおむね理解と考える。シルバー人材センターは事業者の登録を完了。事業運営が可能となる支援策を検討。農産物直売所は、業務の効率化の観点から、委託販売方式を継続し店舗運営の効率化を図り、インボイスに対応したシステム導入を検討する。



子育て支援の拠点「さめがわこどもセンター」



森 隆之 議員

問 村所有の公共施設の利用計画は

答 解体も視野に次年度以降、利活用等の方針を検討したい

質問

村の施設である旧青生野小学校、旧国保診療所、旧鮫川保育所、山王の里など、取壊しなど含め今後の利用計画等、村の考えを伺う。

答弁(村長)

公共施設の維持管理については、喫緊の課題であると認識している。来年度において、施設ごとの整備や解体も含めた、年度別の管理計画の検討を指示している。旧国保診療所については、老朽化が著しく、今後の利活用は困難であると判断し、令和5年度予算に解体に要する費用を計上した。また、山王の里は、経営再開を目指し、現在も指定管理者を募集しているところ。今後、旧鮫川保育所含む他の施設も併せて、来年度以降にその利活用や処分の方針を検討したい。

再質問

旧富田小学校の今後の利活用については。

答弁(村長)

旧富田小学校は、1階を商工会関係の合同会社がエゴマの搾油、それからパンの加工で使用していたが、現在は移転して職員室、校長室も使用していない。奥の2部屋には、保冷施設としてみその原料等が入っている。しかし建物は耐震補強がされていない施設であり、今後も見つからないかと思っている。将来的には解体をせざるを得ない施設、建物であると考えている。



今年度解体予定の旧国保診療所

東石・中野集落センターの複合施設への移設の考えはあるか

今のところ、集会所の移設という考えは持ち備えていない

質問

現在、村には、各行政区に集落センターがある。特に、赤坂中野区集落センターと東石区集落センターは丘陵地に建設していて、建物まで急な登り坂になっていて高齢のお年寄りが利用しづらい状況である。加えて建物の裏側が山となっており、地震や豪雨災害で土砂崩れの危険性があり、災害時の避難場所として使用できない。このような状況を踏まえて、村は平坦な土地への移設等の考えはあるのか伺う。

答弁(村長)

各行政区の集落センターは区固有の財産であり、村として平坦な土地への移転を積極的に検討する立場にない。ま

た、災害時の避難場所として利用できないという点については、いずれの集落センターも近隣の避難所があり、そちらの施設への避難が可能であると考えている。なお、行政区において施設の新築を検討する際には、村としてできる範囲で支援をしていきたいと考えている。

再質問

経済状況を考えると、各行政区で移設というのは現実的に難しいと思っている。その代替案として、村の複合施設の中に集会所を入れて、避難所兼集会所みたいな形で平場のところに移設したい。例えば、村保健センターは駐車場が狭い。隣の遊休農地を駐車場にして、同時に避難所兼複合施設を造つてその中に東石、中野区集会所を入れてみてはどうか。

答弁(村長)

ご提案の保健センター駐車場増設と複合施設そのものの位置が

一体どこがいいのかということは、今後、ごどもセンターや図書館、さらには小中一貫校の校舎や、「手・まめ・館」と館山の関連もあり、どの場所が適切なのかというのは、皆さんと相談していきたいと考えている。今のところ、保健センター隣の遊休農地を取得して集会所の用地にという考えは持ち備えていない。



次のページは

一般質問

前田武久議員・関根浩治議員



前田 武久 議員

問 村道唐露・葉貫線の改良は

答 砂利敷きゴム板の水切りで維持



土砂流出が激しい村道

質問

村道唐露・葉貫線は村長就任時の令和元年12月定例会で、一般質問で質したところ「村民が鮫川から出ていくような状態、30年もの砂利道の生活主要道を、当然行政としてやるのが、私の偽りのない心の内であり、誠意を示す」と答弁された。

その後、令和3年6月一般質問で「早急に調査・検討を進める」というだけで、取り組みの進展がなく、再質問の答弁で、今後残り2年の任期中、調査と計画的改良を検討するとの約束、村長の任期も迫って

いるが、具体的な進捗状況を尋ねる。

答弁(村長)

未改良1.8キロ改良には、森林管理署との協議が必要。工事に伴い、立木、造林補償、水路改善等12月の質問で住民の要望に応えられる検討をし、生活上適切な道路管理に努め取り組んで参りたい。

再質問

今の村長の答弁内容が以前と全く変わらないうし、道路の状況、私何度も見聞し承知している。あのままでは生き残りをかけ、懸命に耐え忍

び納税義務を果たしている3軒の村民が出ていく状況。鮫川唯一の限界集落となる懸念が危惧される。約束された事業の計画測量、調査、調達資金等の財政面、国有林の取得等これまで3回目の質問となるが、現在までの誠意ある取り組み内容と村長の認識を村民に表明願いたい。

答弁(村長)

議員からの限界集落の心配、気持ちよくわかる。集落からの葉貫方面、急こう配により、牧野道路迂回など考えたが、東石地区2路線とも砂利道で改良には多額の費用を要する。とりあえず、下流への土砂の流入防止のため板にゴムマットを張り埋め水をか

再質問

戸草、青生野地区の方が通勤のため、降雨のたび土砂流失、古殿町への通勤で、3.1キロ遠回り

をする状況を承知しているはず。約束された事業計画、調査、測量全然やっていない。私から見ると疑わしい村民をだますことになる。

それと根強く交渉すべく国有林、森林管理署との協議は、公務として記録があると思うが3年の内何度されたか。

答弁(地域整備課長)

棚倉森林管理署担当と2回電話で内容を聞いただけで、管理署としては工事は難しいとのこと。

再質問

今の課長答弁では、村道改修に対する交渉には、一度も出向いていない。国有林に関する資産評価、基本計画も全くと聞いていただけ具体的な協議をしていないというが。

答弁(村長)

路線の計画図策定していない。基本的計画もない。過去は、道路インフラ整備で助成金や社総

金があつたが、今は10分の1の助成金となり進まない。まずは、上流からの土砂、水害防止策を講じたいので、ご理解願いたい。

再質問

総合整備計画に唐露道路を計上し、議決しているが。

答弁(村長)

有利な起債を要望している。

再質問

計画計上したものの活用図らねば意味がない。3年となるが、計画期限は何年か。

答弁(総務課長)

今、答弁できる資料がない。

再質問

3年前に議決された計画期限も答弁できない。わからないのでは、承服できない。村長任期中の答弁約束全く実行していない。これ以上の進展性がないので終わる。



関根 浩治 議員

問 新年度予算からの 農業振興策は

答 独自の事業補助を構築する

質問

本村の重要な産業である農業振興は、コロナウィルス感染症やロシアのウクライナ侵攻により、農業資材価格が高騰し、経営維持に苦慮している。新年度予算での重点施策を問う。

答弁(村長)

国の支援制度に該当しない新規就農者や認定農業者等を対象に、機械・設備の導入に村独自補助事業を構築する。また担い手農業者懇談会の開催や、農機具等のマッチング事業、遊休農地解消のエゴマ栽培拡大と、買上げ価格の引き上げをする。

再質問

畜産部門は、優良牛整備増殖事業補助金額1頭当たり3万円から5万円に増額をして、肉用牛・乳用牛経営を応援したい。

堆肥センター堆肥利用による有機農産物生産と、差別化有機付加価値農産物販売と、肥

料高騰対策としての堆肥センター堆肥の活用を問う。

答弁(村長)

豊かな土づくりセンターは、循環型農業として稼働して有機質で栽培された野菜、作物等の付加価値販売について、手まめ館と連携し進める。

再質問

有機減農薬栽培による学校給食米での新年度からの子供センター・小中学校給食食費無償化について問う。

答弁(村長)

学校給食費の半分を保護者から、半分は村からという基本的なことに鑑んで子供センターの10000円負担を進め、その食に対する感謝の気持ちやありがたさを学校教育の食育指導強化を進める。

問 中山間地域の農業農村振興は

県へ中山間地域農業モデル実証事業を要望する

質問

本村は中山間地域であり、水田農業経営地としては必ずしも恵まれた立地とは言えない。この地域の耕作及び農家の果たす役割は重要である。今後の農業農村

の振興策を問う。

答弁(村長)

中山間地域直接支払制度、多面的機能支払交付金制度の取り組みで、農家の尽力により継続的に農地管理がされている中、耕作条件不利地域での営農を持続可能なものにしていくために、県へ中山間地域での農業モデル実証事業を要望し、さらに福島県農業認定研修期間の登録に向け、研

再質問

村の立地条件における適作、高収益作物導入等の農業農村振興を問う。

答弁(村長)

大豆生産拡大と加工品と販売戦略強化、耕作放棄地や遊休農地活用の主軸となる畜産の推進で、輸入飼料に頼ることなく自給飼料の確保ができる体制の支援を講じていきたい。

再質問

限られた財源には限度があるが、自主財源確保に向けたふるさと納税の一戸一件運動や返礼品工夫や選定方法改善で大幅な増額を問う。

答弁(村長)

返礼品の工夫による地場産業振興につながるものや、体験型のキャンプや森林資源活用で、農業を取り込む地場産業の振興で進めたい。



マッチング事業での機械導入

次のページは

一般質問 遠藤貴人議員・関根英也議員



遠藤 貴人 議員

問

不登校児童生徒への支援の在り方は

答

不登校がその子にとって
大事な時期である場合もある



進路選択での不利益が生じない支援が求められる

質問

文部科学省から「不登校児童生徒への支援の在り方について」の通知が示されたが、本村の支援の現状を伺う。

①本村で、不登校児童生徒の増加傾向は見られるか。その場合、要因をどのように分析しているか。

②不登校児童生徒に対する適切な対応のため、中心的な役割を果たす教員を明確に位置づけているか。

③いじめが原因で不登校になっている場合や、教員による不適切な行動や指導が不登校の原因になっている場合など、状況の把握や事実の確認をどのようにされているか。

答弁(教育長)

①福島県では約22%増え、過去最多になった。本村の状況は、昨年度に比べ1.66倍と急激に増加している。

不登校に至った要因については様々で、学力の不振や人間関係の問題、無気力や生活の乱れなど、それぞれで要因は違っている。

②この役割は生徒指導主事が担っている。不登校の児童生徒が生じた場合、生徒指導主事が要になって、校長・教頭・養護教諭・スクールカウンセラー・外部の協力団体なども含め、チーム学校として積極的に協力し合って不登校の児童生徒の支援に当たっている。

③関係者で組織する不登校対応ミーティングで情報交換を行い、状況の把握、事実の確認を行っている。

来年度からは村独自に指導主事を配置して、学校への支援を強化したい。

再質問

文部科学省から、不登校への対応について様々な資料や通知が各学校に届いているが、鮫川小・中学校独自の不登校対応マニュアルが必要ではないか。

鮫川小・中学校独自の不登校対応マニュアルが重要ではないか。

再質問

保護者と学校が連携できなければ、不登校で苦しむ生徒の状況が改善されることは難しいのでは。

全く同感。解決に向けて大切なことは、学校と保護者が信頼関係を築いて、同じ方向を向くこと。お互いにできることを話し合って、支援にあたることを基本とするよう、各学校に指導していききたい。

再質問

「来年度から本村でも指導主事を配置する」とのことだが、近隣町村では以前から指導主事が配置されていた。今まで指導主事が設置されてこなかった理由は。

多額の費用が必要となるので財政的な理由もあるかと感じる。指導主事の業務は、小・中学

再質問

多額の費用が必要となるので財政的な理由もあるかと感じる。指導主事の業務は、小・中学



関根 英也 議員

問 村発注工事の落札率は国・県より相当高い。競争原理が働く入札を

答 公正な入札に努めたい 除雪基準を見直す事を検討したい

質問

令和3年度、4年度の村発注工事の指名競争入札、一般競争の落札率は97%程度になっている。

一方、国土交通省発注の直轄工事の落札率は93%、福島県発注工事の落札率は、92%程度であり、県と比較すると約4%も高い。村内の産業経済や雇用対

策、防災機能の維持のため、村内業者優先で

村発注を注すること、理解できる。競争原理が働く入札が必要と考えるが、村長の所信を伺う。

答弁(村長)

落札率が高いのではないかと指摘だが、近年の村発注工事は、数百万円程度の維持補修的な工事が多いこと。さらに、業者側の積算精度が高くなっていることなども要因として考えられる。低価格での落札は、工事の質の低下、下請け業者への影響もあるため、落札率が高いことは必ずしも悪いことではないと考えている。

再質問

令和3年度、4年度の村発注工事の指名競争入札は何件あったか。

答弁(地域整備課長)

地域整備課発注の指名競争入札件数は、令和3年度が24件、令和4年度は22件です。

再質問

予定価格の総額はいくらか。また、落札率は、何%だったか。

答弁(地域整備課長)

予定価格の総額は出していない。落札率は令和3年度は97.48%、令和4年度は97.72%。

再質問

1回目で落札された件数は、何件か。全体の何%に当たるか。

答弁(地域整備課長)

入札は3回までできるが、ほとんどは、1回の入札で決まっている。

再質問

ほとんどが、1回で落札されており、落札率は令和3年度が97.48%、令和4年度が97.72%であり、国県発注工事の落札率より、相当高い。公共工事は、直接工事が約6割、諸経費が4割と言われ、民間工事と比べると利益率は相当高い。

再質問

令和3年、4年度の村発注工事が、県の落札率並みになっていれば、村財政は年600万円、700万円は節

納税者、村民から見ると本村は財政力が乏しい村なので、競争原理が有効に働き、工事が1円でも節約できる入札であるべきと考えるが、再度村長の認識を伺う。

答弁(村長)

公共工事はきちんと利益が上がって社員の福利厚生ができるように設計されている。直接工事費に対して安全管理費、一般管理費、共通仮設費が加算され、さらに諸経費4割以上が加算されるなど、非常に利益が上がる仕掛けになっている。指摘されたように、公共工事の財源はすべて、国民村民の税金、血税である。1円たりとも無駄にしないような競争原理が働く、公正な入札執行に努めたい。

答弁(村長)

本村の除雪基準は、15センチからである。県道はもともと低い基準で、深夜から掃いている。本村の交通事情は非常に悪く、特に若い女性や本村への通勤者も、来るのは何とか来たが、帰りが怖いという話を聞く。今後基準を変えるよう検討したい。

次のページは

福島第一原発 視察研修・自治功労者表彰

福島第一原子力発電所 廃炉作業視察研修

令和5年2月、東京電力ホールディングス株式会社が展示する東京電力廃炉資料館を見学し、福島第一原子力発電所の廃炉作業を視察しました。



ALPS処理水の安全性の説明



汚染水の浄化処理方法の説明



廃炉作業が進む原子炉建屋



防護服などを着用せず最前線の作業を視察

自治功労者表彰

議会議員として15年以上在職し、地域振興に寄与し長年の功績が称えられ、全国町村議会議長会から3名の議員が表彰を受けました。また、星一彌議員は議会議長として、7年以上在職した功労も称えられました。



自治功労者表彰を受けた3名の議員

ゆうきくん
からの
お願い

議会傍聴に
来てくださーい！



議会傍聴者からの一言

— 3月定例議会傍聴者アンケートより —

議員の発言内容は良くわかりましたか

・ 議員からの質問が長いと感じた。

答弁者 村長・教育長・職員 の発言はわかりましたか

・ 村の難題を即答するのは大変かと思う。
・ 教育長さんのお話は良くわかりました。

傍聴されて気づいた点がありますか

・ 村の家計(財政)を守るのは大変だと感じた。

議会全般に対してご意見ありますか

・ 子どもを思う村をお願いしたい。

ふるさと鮫川への想い シリーズ④

私の故郷は福島県鮫川にあり

私は、高校卒業と同時に警視庁警察官を拝命し、60歳の定年まで42年間、警察官の仕事をし、その後、嘱託職員として運転免許試験場で8年間、13所属勤、通算50年間働きました、昨年3月をもって退職しました。

◆プロフィール
 【生年月日】昭和29年2月20日生まれ
 【昭和47年3月】学法石川高等学校卒業
 【同年3月】警視庁警察官を拝命
 【昭和53年3月】国土館大学政経学部二部・政治学科卒業



わがつま あきら
我妻 影 さん
 埼玉県越谷市在住(大字西山字落合出身)

昭和47年2月高校卒業の頃には連合赤軍による浅間山荘事件の真只中、機動隊員2名の殉職事案が発生していました。私が上京する際に、バス停留所で待っているとき、近所の叔母さんが「警察官になっても機動隊にだけは入らないでよ。」と言われ、私は心配してくれての挨拶だと思いい、その時は「はい」と言ったのを覚えています。私は警察官になつて二度、機動隊を経験しました。

生まれ育ったところは、西山字落合で葉タバコ作りが盛んで、年間を通して家族総出で葉タバコ作りの農作業に従事していました。葉タバコの収入で生計を立てていたのです。山あいで、生まれ育った私は、小学校4年生の時に遠足旅行で、生まれて初めて勿来の海を見て、海の広さと、波の音に感動、感激したのを覚えています。鮫川中学校に入学して、葉タバコの農作業が忙しくなる前にも、友人3人と相談して、あの難所である御斎所峠を自転車通で勿来の海に行ったのを昨日のこのように覚えていいます。計画では、所持金もないことから、映画を観ながら映画館で泊まる予定でしたが、映画館が暗くなると、我が家が恋しくなり、家に帰る事になりました。途中、竹貫のドララーメンがとても美味しかったのを覚えています。海を見たい気持ちは、大きくなって変わらぬ「何時かは、海のあるところ」と思い、現職時に、妻と子ども三人を連れて東京から10000キロ離れた風光明媚で世界遺産にもなった小笠原警察署で勤務することができました。

夏は葉タバコの忙しさを身体全体で覚えていたので、両親に少しでも楽をさせようと、思い、夏休みには、鮫川に戻って葉タバコの手伝いをしました。手伝いは、独身時代はもちろんのことですが、結婚して子どもが生まれた後も夏休みの休暇は、しばらくは、鮫川に帰省して葉タバコの手伝いをしました。妻は、朝、昼、晩と家族の食事当番でした。夜は、家族みんなで鮫川の話やら、私の都会での様子の話等をしながらか、お酒も手伝つてか、深夜まで話しは続きました。最近、禁煙ブーム、タバコへの健康被害、受動喫煙等が騒がれている時代になつて、田舎に帰つても、畑に葉タバコのないのがとても複雑な思いです。

鮫川で生まれ育った環境か、現在家庭菜園をしています。初めは庭でやっていたのですが、段々と物足りなくなつて畑を借り、豆トラの耕運機を購入して、畑にハウス小屋を建てました。昨年は、大玉スイカ13キロを作りました。また、作った作物は、隣近所、知人に配ります。妻は、野菜等を車に乗せて子ども達へと宅配便をして、子ども、孫から大変喜ばれています。これも、生まれた環境、鮫川のお陰と感謝しています。

これまで、色々な人との出会いも、別れもありましたが、常に福島県人であること鮫川出身であることを誇りに思っています。

私には、私は埼玉県越谷市に住んでおり、自治会の役員をしていますが「警察官を辞めても、困っている人がいたら助けてあげる。」と言うのが私の信条です。今、自分に何が出来るか？を自問自答し、何事も積極的に行動し取り組んで社会貢献していきたいと考えています。

むすびにコロナ禍で父親、義兄の葬儀に出席も、焼香も上げることが出来ていないので、今年こそは、暖かくなつて、コロナ禍でも落ち着いてきたら鮫川に帰つて、お焼香したいと思っています。

編集後記

全国各地から、平年より早い桜の開花たよりが届いていますが、気候温暖化の影響かと思われ桜花爛漫の季節となり楽しみにになりました。

さて、4年間にわたつて議会だよりをお届けしましたが、議会と行政について御理解いただけただでしょうか。「コロナ禍の中での各種集会自粛により、議会の想いが届けられなくなり残念に思いますが、今後解消され実施できることを願ってやみません。
 (広報編集委員)